

南河内第二中学校区 授業研究チーム・国語部会

【目指す子ども像】
 (まなび) 主体的に考え、学び合いを通して互いに高め合える子ども
 (こころ) 思いやりの心を持ち、自他を大切にできる子ども
 (からだ) 健康に関心を持ち、体力向上に励む子ども
 (ちいき) 社会に貢献し、地域に主体的に参画しようとする子ども

【実践研究課題】
 実践研究【伝える力の育成】 教育活動全体を通して、考えや気持ちを理解し、互いに認め合える子どもを育成します。
 重点教科 (国語、外国語)

【児童生徒の実態】
 知的好奇心が高く、学習意欲が高い。学習・生活両面が安定している児童生徒が多いが、個別指導が必要な児童生徒も少数おり、学習に限らず学級経営にも工夫が必要である。興味関心のあることについては、積極的に発言できるが、集団や他の意見に対しては関心がやや薄く、話し合いながら課題を解決したり、学びを深め合ったりする力がやや低い。

【部会のねらい】
 主体的に考え、考えたことを他者に分かりやすく伝えたり、他者の考えを受容しながら聞いたりすることにより、更に自分の考えを広げ深められるような「豊かな対話力」を育成する。また「豊かな対話力」の土台となる「聞き合う力」の育成を目指す。

視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

取組	①「豊かな対話力」の土台となる、「聞き合う力」の育成するための実践。 ②聞き合う力を育成する、教師のコーディネート力向上のための情報交換。 ③小中学校相互の授業参観及び授業研究会への参加。(＠緑小学校6月・9月)
成果	
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日												
	P		D							C	A	P
	組織作り・計画作り	小中一貫の日②	緑小学校S&U(師範授業)	小中一貫の日③		小中一貫の日④	小学校S&U(研究授業)		小中一貫の日③ まとめ(成果と課題)	全体会	発表	

南河内第二中学校区 授業研究 チーム・外国語部会

【目指す子ども像】
 (まなび) 主体的に考え、学び合いを通して互いに高め合える子ども
 (こころ) 思いやりの心もち、自他を大切にできる子ども
 (からだ) 健康に関心もち、体力向上に励む子ども
 (ちいき) 社会に貢献し、地域に主体的に参画しようとする子ども

【実践研究課題】
 実践研究【伝える力の育成】 教育活動全体を通して、考えや気持ちを理解し、互いに認め合える子どもを育成します。
 重点教科 (国語、外国語)

【児童生徒の実態】
 知的好奇心が高く、学習意欲も高い。しかし、他教科と同様に学力の二極化が見られ、小さい頃から外国語に慣れ親しむ環境で育ってきた児童生徒がいる一方、外国語に苦手意識もち、聞くことや話すことに消極的な児童生徒も一定数いる。また、英語に関して豊富な経験を有する児童生徒でも、相手意識や目的意識をもったやりとりは、やや苦手な傾向がある。

【部会のねらい】
 外国語科、外国語活動、英語活動において、主体的に考えや気持ちを伝え合う力を育成する。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	①英語を通じた小中の交流授業を実践する。 ②単元計画において、必然性のあるやりとりの場の設定を工夫し、実践事例を持ち寄ったり、S&Uの授業を参観したりして学び合う。 ③「しもつけ未来学習」を積極的に活用する。 ④コミュニケーションDAYについての情報交換を行う。
成果	
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日		1 17	28		1			15 20	13				
	P		D						C	A	P		
	第一回小中一貫研修 (活動内容の決定・情報交換)	第二回小中一貫研修 (小中交流授業についての話し合い・情報交換)	各校での 第三回小中一貫研修 (小中交流授業についての話し合い・情報交換)	各校での	第四回小中一貫研修	各校での実践 小中一貫授業	各校での実践	小中交流授業 第五回小中一貫研修 (推進シートまとめ)	祇園小 & U (外国)	第六回小中一貫研修全体会			

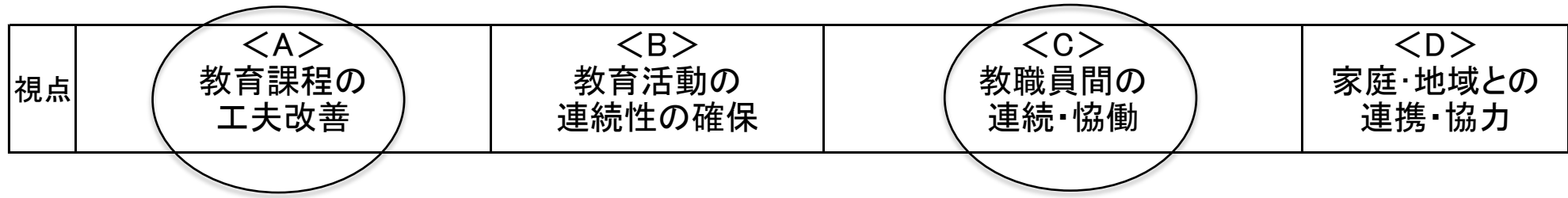
南河内第二中学校区心づくりチーム

【目指す子ども像】
 (まなび) 主体的に考え、学び合いを通して互いに高め合える子ども
 (こころ) 思いやりの心もち、自他を大切にできる子ども
 (からだ) 健康に関心もち、体力向上に励む子ども
 (ちいき) 社会に貢献し、地域に主体的に参画しようとする子ども

【実践研究課題】
 ①二中学区の「心づくり」に関連する活動の、「見える化」に取り組む。
 ②二中学区の「心づくり」に関連する活動を、児童生徒及び職員に周知した上で実践し、その後の指導につなげる。

【児童生徒の実態】
 知的好奇心が高く、学習意欲が高い。興味があることに主体的に取り組むが、集団に対しては関心がやや薄い傾向もみられる。集団との関わりが求められる場面で、協同的に活動に向かう意識、積極的に解決しようとする能力がやや低い。

【部会のねらい】
 新設から2年目となる「心づくりチーム」は、令和3年度「学級づくりチーム」と「道徳教育チーム」の活動を継承・発展させた部門である。2年目は、教師用活動デザインを通して見える化した取組を、計画的に周知・実践していく。



取組	・心づくりチーム版「教師用活動デザイン」を活用し、見える化した4つの取組(①市いじめ防止強調月間に合わせた、学級力向上アンケートの実施と分析 ②道徳教育における、カリキュラムマネジメントシートの活用〔地域連携、郷土愛〕 ③二中学区挨拶運動の充実 ④読書活動の充実)について、計画的に周知・実践する。
成果	
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日												
	P → D									C	A	P
	に推担各 つ進・校 いシ実 てー施 確トお 認作の 成確 ・認 年取 間の組 の分 取組	内各 容校 をに 掲お 示ける 板に に実 集践 約及 ①び 、 実 施	内各 容校 をに 掲お 示ける 板に に実 集践 約及 ②び 、 実 施	認九題実 月分事 以析例 降①の の整 実理 践と、 につ成 いて果 の確課	内各 容校 をに 掲お 示ける 板に に実 集践 約及 ③び 、 実 施	題実 分践 析事 ②例 の整 理と、 成 果・ 課		活実 動践 の事 ま例 とを も とに、 二 年 間 の	活 動 の 報 告 ・ 次 年 度 の 活 動 に つ い て の 検 討 (十二 月十 三日)	果市 ・教 課職 題員 発表全体 研 修 会 にて、 成		備次 年度 に 向 け て の 引 き 継 ぎ 準

◆小中一貫教育推進シート

南河内第二中学校区 健康チーム

【目指す子ども像】

- (まなび) 主体的に考え、学び合いを通して互いに高め合える子ども
- (こころ) 思いやりの心もち、自他を大切にできる子ども
- (からだ) 心身の健康に関心もち、体力向上に励む子ども
- (ちいき) 社会に貢献し、地域に主体的に参画しようとする子ども

【実践研究課題】

〔伝える力の育成〕
 教育活動全体を通して、考えや気持ちを理解し、互いに認め合える子どもを育成する。
 重点教科(国語、外国語)

【児童生徒の実態】

- ・全体的に体力向上に対する意欲が低く、運動への関心において男女差がある。また、種目によっても児童生徒の意欲の高さに差が見られる。
- ・立腰指導は中学校において定着してきたが、小学校においては不十分な部分がある。
- ・朝食を食べる児童の割合は高いが、内容に関して課題のある児童生徒がみられる。また、食べてこない理由には、生活リズムの乱れによる児童生徒が多い。
- ・体が硬い児童が多く、体育の授業では容易にけがをしてしまう児童生徒が見られる。

【部会のねらい】

- ・体育での安全指導や身体の使い方、体力向上について、小中の発達段階に応じた指導を行う。
- ・朝食摂取の充実と身体作りの意識の向上を図る。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	①けがの予防のために、3校統一して取り組むための「二中学区体操」の運用 ②立腰指導の継続、各校の学校保健給食委員会への参加 ③朝ごはん毎日食べよう週間の実施、朝食アンケートでの実態把握、朝食欠食児童生徒への個別指導 ④11月「体力向上月間」の実施、外遊びの奨励、「二中学区健康だより」の発行 ⑤児童生徒の健康課題に対する意識調査の元、子供達の変容をみとる
成果	
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日													
	P		D					C		A	P		
	て・設・部・ の部定児童生徒の 確認で取り組みたいこと の	・設 ・推 ・進 ・シ ・ト ・完 成	・推 進 シ ー ト 完 成	・二 中 体 操 の 運 用	・	・作 ・立 ・成 立 腰 指 導	・参 ・加 ・小 ・学 ・校 ・保 ・健 ・給 ・食 ・委 ・員 ・会	指 導 ・朝 ・食 ・欠 ・食 ・児 ・童 ・生 ・徒 ・へ の 個 別	・間 ・「 ・朝 ・食 ・欠 ・食 ・児 ・童 ・生 ・徒 ・へ の 個 別 指 導	委 員 会 ・参 加	・行 ・「 ・二 ・中 ・学 ・区 ・保 ・健 ・給 ・食 ・委 ・員 ・会 」 の 発 行	○全 体 会	行 ・「 ・二 ・中 ・学 ・区 ・保 ・健 ・給 ・食 ・委 ・員 ・会 」 の 発 行

南河内第二中学校区 つながりアクション チーム

【目指す子ども像】
 (まなび) 主体的に考え、学び合いを通して互いに高め合える子ども
 (こころ) 思いやりの心を持ち、自他を大切にできる子ども
 (からだ) 健康に関心を持ち、体力向上に励む子ども
 (ちいき) 社会に貢献し、地域に主体的に参画しようとする子ども

【実践研究課題】
 実践研究【伝える力の育成】 教育活動全体を通して、考えや気持ちを理解し、互いに認め合える子どもを育成します。
 重点教科 (国語、外国語)

【児童生徒の実態】
 知的好奇心が高く、学習態度は良好で、課題に対し熱心に取り組むことができる。また、礼儀正しく落ち着いた態度で生活をしている。急速に発展した新興住宅地であり、地域住民や保護者は他県や他地域出身の割合が高く、育成会や地域の伝統的な行事が少ないため、子供たちと地域とのつながりが薄い。

【部会のねらい】
 地域やふるさとの良さを知り、地域の一員として年中行事やボランティア活動に主体的に参加し、地域とのつながりを感じ、愛着を育てる。

視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

取組	子ども未来プロジェクト	小中合同クリーン活動	小中学生と地域住民とのつながりがもてる企画
成果			
課題			

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	12	17	28	4 21	1	常時	常時	27	13	17		
PDCAサイクル	P → D								C	A	P	
活動内容	管理職部会 推進シート作成委員会 / 全体会	実践研究課題および地域の住民との交流について	子ども未来プロジェクト生徒交流	前期の活動の振り返り	生徒会・児童会を中心とした教育活動の実践	生徒会・児童会を中心とした共通した教育活動の実践	二中学区小中合同クリーン活動について	推進シートのまとめについて	全体報告	児童生徒の振り返り(地域とのつながりについて)	二中学区小中合同の作成	二中学区小中合同の作成